

福知山城天守閣企画展

松鷹図 (朽木昌綱 作)
井上正暉氏蔵

朝暉神社 創建200年

福知山藩と朽木家



朝暉神社城址遷座の図 (部分)
圓覚寺蔵

会期

令和6年

10月16日(水)～

11月11日(月)

会場

福知山城天守閣 2階展示室

放鷹実演と鷹展示

展示に併せて、「朝暉会」主催による放鷹実演と鷹展示が開催されます。

日時：令和6年10月27日(日) 午前10時 [見学無料・雨天中止]

場所：朝暉神社境内(福知山城天守閣入口前)

協力：鷹匠 衣川正幸氏

注意事項：動物(犬などの)持ち込みは事故が起こる可能性がありますので遠慮ください。

近江朽木谷の武将朽木元綱が、関ヶ原の戦いで合戦に西軍で参加するも、時勢を見極め東軍に与し、本領安堵を得ることに成功し、その3人の子は江戸時代にも大名・旗本として活躍しました。

元綱の子、種綱は3代将軍家光の寵愛を受け大名となり、寛文9年(1669)、種綱の長子種昌は常陸国土浦から三万二千石を拝領し、福知山に奉ぜられ、福知山藩主となりました。文政7年(1824)11代藩主綱條は種綱を祀る「朝暉神社」を建立しました。令和6年(2024)は朝暉神社が創建されて200年となります。

明治維新後、明治14年(1881)、朝暉神社は廃城となって取り壊された福知山城旧天守の石垣の上に移され、多くの市民が福知山城公園のことを「朝暉さん」と親しく呼ぶようになりました。

今回の企画展では、朽木家関連や朝暉神社関連の資料を紹介し、福知山藩の歴史を辿っていききたいと思います。



猿猴図 (朽木綱貞作)
井上正暉氏蔵



猛虎図 (朽木舖綱作)
井上正暉氏蔵



鷹狩之図絵巻 (部分)
朝暉神社蔵

福知山城天守閣

■開館時間

午前9時00分～午後5時00分
(入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週火曜日

年末年始 12月28日～12月31日まで、
及び1月4日から6日まで

■入館料

| | 個人 | | 団体 (30人以上) | | (税込) |
|-----|------|------|------------|------|------|
| 一般券 | 個人 | 団体 | 共通券 | 個人 | 団体 |
| おとな | 330円 | 290円 | おとな | 900円 | 860円 |
| こども | 110円 | 90円 | こども | 400円 | 380円 |

※共通券は福知山市佐藤太清記念美術館・福知山鉄道館フレールの入館料とセット(割引)になっています。
※障害者手帳をお持ちの方及びその介助の方1名は入館料が半額になります。

〒620-0035 京都府福知山市字内記5番地 [TEL & FAX] 0773-23-9564